

科目ナンバー：BC1051

授業コード：2230100500

講義科目名称：基礎看護技術演習Ⅱ

英文科目名称：Practice in Nursing SkillⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、谷内田潤子、山岸美奈子、川島良子、池田よし江、金井系未、山内豊明			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎岡村 典子	新潟県立看護大学	216	norio@niigata-
	cn. ac. jp			
	川島 良子	新潟県立看護大学	206	
	kawasima@niigata-cn. ac. jp			
	谷内田 潤子	新潟県立看護大学	共同研究室1	
	yachidaj@niigata-cn. ac. jp			
	山岸 美奈子	新潟県立看護大学	共同研究室5	
yamagisi@niigata-cn. ac. jp				
池田 よし江				
yoshiike@niigata-cn. ac. jp				
金井 系未				
tkanai@niigata-cn. ac. jp				
実務経験のある教員が担当します。				
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
看護師課程				
【DP1】【DP2】【DP3】【DP4】【DP5】【DP6】【DP7】				
○ ◎				

到達目標	1. ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントについて理解できる 2. 主要なフィジカルイグザミネーションについて実施することができる 3. フィジカルイグザミネーションを用いて、身体の状態を観察できるとともに、正常か否かのアセスメントが実施できる
授業概要	学修する各看護技術の目的と意義、そして実施するための知識・技術を習得する。この科目では、対象の健康状態をアセスメントするために必要となるバイタルサイン、フィジカルアセスメントに関する技術について、必要な知識を学ぶとともに演習を通して技術の習得を目指す。 ※A・Bグループに分かれて少人数で演習を行う。詳細のスケジュール（担当教員含む）は後日配布する。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：ヘルスアセスメントとは 学修内容：ヘルスアセスメントとは フィジカルアセスメントの基本技術 健康歴の聴取 事前学修：基礎看護技術演習Ⅰの必携図書(系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰp124～p127)を読み、ヘルスアセスメントおよびフィジカルアセスメントとは何か、また、双方の関係性について整理し記述しておく。 事後学修：ヘルスアセスメント・およびフィジカルアセスメントについて学んだ内容を演習に活かせるよう、事前学修の内容も含めて整理し記述する。 備考：ゲストスピーカー 山内豊明 先生(本学 客員教授) 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：生命活動の観察 学修内容：生命活動としての呼吸・循環・体温 バイタルサインとは バイタルサインの観察と正常・異常、影響因子 事前学修：必携図書（系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ第4章 3バイタルサインの観察とアセスメ

	3 ント 事後学修：p150～p168) を通読する。 バイタルサインおよび各バイタルサインの項目である体温・脈拍・呼吸・血圧・意識について、観察する意義と、正常・異常について説明できるよう復習する。 備考：山岸 授業内容 授業形態：演習 学修課題：バイタルサインの測定と観察① 学修内容：聴診器、血圧計の点検と取り扱い方 体温・脈拍・呼吸・血圧測定の方法 記録の方法 事前学修：必携図書（系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 第4章 3バイタルサインの観察とアセスメント 事後学修：p166～p167) の二次元コードから血圧測定の動画を視聴する。 血圧測定の原理および、触診法と聴診法の適応を説明できるよう復習する。触診法・聴診法 それぞれの正しい測定方法を習得できるよう練習を行う。 備考：山岸、ゲストスピーカー 4 授業内容 授業形態：演習 学修課題：バイタルサインの測定と観察② 学修内容：聴診器、血圧計の点検と取り扱い方 体温・脈拍・呼吸・血圧測定の方法 記録の方法 事前学修：必携図書（看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント p34 二次元コードからバイタルサイン 測定の流れの動画を視聴する。 事後学修：バイタルサイン(体温・脈拍・呼吸・血圧)の正しい測定と観察を習得できるよう練習を行う。 備考：山岸 5 授業内容 授業形態：演習 学修課題：呼吸器のフィジカルアセスメント 学修内容：胸部外観・呼吸運動、胸部の可動性、胸部打診、呼吸音聴取 事前学修：形態機能学（解剖生理）の復習 「フィジカルアセスメントの実際」のDVD視聴 必携図書（看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント p76～p83) の該当部分を 通読し、 QRコードがある項目は動画も視聴してイメージトレーニングを行う。 事後学修：全項目のフィジカルイグザミネーションを実施し、呼吸器のフィジカルアセスメント記録用紙に、 観察結果およびアセスメントを記載して、指定期日までに提出する。 備考：池田 6-1) 授業内容 授業形態：演習 学修課題：心臓・血管系のフィジカルアセスメント 学修内容：心音聴取、動脈触知、心拍と脈拍の同時聴取 事前学修：ジグソー学習による学習を行う。指定された講習に参加する。 事後学修：振り返りシートによる演習の振り返りを行う。 備考：川島 6-2) 授業内容 授業形態：演習 学修課題：腹部、乳房・腋窩のフィジカルアセスメント 学修内容：腹部全体の触診・聴診・打診、腹部膨満、腸蠕動音聴取行う。 事前学修：ジグソー学習による学習を行う。指定された講習に参加する。 事後学修：振り返りシートによる演習の振り返りを行う。 備考：川島 7 授業内容 授業形態：演習 学修課題：頭頸部・脳・神経系のフィジカルアセスメント 学修内容：脳神経、運動機能、反射、感覚機能 事前学修：指定された日時にフィジカルアセスメントの実際のDVDを視聴する。DVDの視聴により頭頸部・脳・ 神経系のフィジカルアセスメント方法の概要を知る。 事後学修：フィジカルアセスメント記録用紙に頭頸部・脳・神経系の観察結果およびアセスメントを記入し、 指定の日時（演習要項参照）までに、提出する。 備考：谷内田 8 授業内容 授業形態：演習 学修課題：筋・骨格系のフィジカルアセスメント 学修内容：関節可動域、徒手筋力検査 事前学修：指定された日時にフィジカルアセスメントの実際のDVDを視聴する。DVDの視聴により筋・骨格系の フィジカルアセスメント方法の概要を知る。 事後学修：フィジカルアセスメント記録用紙に筋・骨格系の観察結果およびアセスメントを記入し、指定の 日時（演習要項参照）までに、提出する。 備考：谷内田
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対し、下記の3点にて評価する。 1. 期末試験70%：期末試験として 目標達成度を最終的に評価する。

	2. 課題20%：課題内容は、学習の進行に応じて講義時に説明する。 3. 学習態度10%：演習、グループワークに主体的・能動的に取り組んでいるかについて評価する。
必携図書	自作テキスト：ファイルにて配布、ハンドアウト資料使用 医療情報科学研究所編集：看護がみえる vol3 フィジカルアセスメント，メディックメディア． 有田清子他：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ，医学書院．
参考図書・資料等	特になし
受講、課題、資料配布等のルール	・演習は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退出は欠席とみなし、遅刻3回で1時限分の欠席とする。出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。また、服装・髪型・爪などの身だしなみ、言葉遣いといった演習に取り組む姿勢にも留意すること。なお、学習課題の順番は変更する場合があります。 ・看護技術の習得を目指すため、課題へ意欲的に取り組むとともに、時間外の自己学習も必要となる。
教員からのメッセージ	アセスメントに関する技術は、対象の健康状態を把握するための重要な看護技術です。そのためには、看護技術に関する知識の修得とともに反復練習が欠かせません。自習時間を十分に活用した練習を期待しています。
オフィスアワー	時間があえばいつでも